



2023年7月11日

各 位

インフラファンド発行者名  
東京インフラ・エネルギー投資法人  
代表者名 執行役員 永森 利彦  
(コード番号 9285)  
管理会社名  
東京インフラアセットマネジメント株式会社  
代表者名 代表取締役社長 永森 利彦  
問合せ先 執行役員管理本部長  
兼財務経理 IR 部長 真栄田 義人  
(TEL: 03-6551-2833)

### TI 矢吹太陽光発電所における一部発電停止事故に関するお知らせ (第3報)

TI 矢吹太陽光発電所 (以下「TI 矢吹」といいます。) における一部発電停止事故に関し、新たな事象が生じたため、その確認状況及び対応状況について下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 新たな盗難被害の発生について

連続するケーブル盗難被害を受けて以降、被害防止策の一層の強化を図っていたものの、2023年7月10日に新たな電気ケーブル盗難被害の発生が確認されました。現在のところ、TI 矢吹は、これまでの被害を合わせてパワーコンディショナー全 22 台中 2.65 台分相当 (発電出力の約 12%) が運転停止しておりますが、残り (発電出力の約 88%) については正常に稼働しております。なお、本投資法人が保有する全太陽光発電所の合計パネル出力に占める TI 矢吹の比率は約 18.6%です。

#### 2. これまでの盗難被害に対する対応状況について

2023年5月12日に確認された初回の盗難被害発生後、警備会社による夜間の有人常駐警備を導入しましたが、同年5月20日に2回目の盗難被害が発生したことから、警備会社及びO&M業者の助言も踏まえ以下の通り重層的に追加被害防止策を講じております。また、TI 矢吹の近隣エリアにおいて同様のケーブル盗難事件が発生していることから、TI 矢吹の所轄警察署長宛に夜間パトロール及び犯人逮捕に向けた捜査の強化を申し入れました。

- ・夜間の常駐警備要員の増員
- ・一部のゲートの封鎖
- ・監視カメラの増設
- ・警報センサーの場内設置

これらの防止策導入以降、事態は沈静化したものと見受けられたことから、7月に入り警備体制の緩和を開始したところ、今回の被害が再発しました。これを受け、直ちに警備体制を緊急時の状態に戻すとともに、地元警察並びに警備会社との連携の下、抜本的な盗難防止策について検討を進めてまいります。

#### 3. 業績への影響について

先の2件の盗難被害につきましては、事故報告書並びに復旧工事見積書を基に、保険金請求の手続きを進めております。

一連の盗難被害による2023年6月期及び2023年12月期業績への影響については現在精査中であ



東京インフラ・エネルギー投資法人

り、運転再開の目途等も踏まえ、全容が明らかになり次第速やかにお知らせいたします。

以 上

【関連するプレスリリース】

2023年5月12日付「TI 矢吹太陽光発電所における一部発電停止事故に関するお知らせ」

2023年5月22日付「TI 矢吹太陽光発電所における一部発電停止事故に関するお知らせ（続報）」

※本投資法人のホームページアドレス：<https://www.tokyo-infra.com/>